



2024年4月10日

各 位

会 社 名 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号8267 東証プライム)
問合せ先 執行役 財務・経営管理担当 江川 敬明
(電話番号 043-212-6042)

連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社の2024年2月期連結決算（2023年3月1日～2024年2月29日）において、2024年1月12日に公表した連結業績予想と実績に差異が生じたことをお知らせします。

記

1. 連結業績予想と実績との差異（2023年3月1日～2024年2月29日）

単位:百万円

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,500,000	百万円 240,000	百万円 230,000	百万円 33,000	円 銭 38.60
実績(B)	9,553,557	250,822	237,479	44,692	52.25
増減額(B-A)	53,557	10,822	7,479	11,692	—
増減率	0.6%	4.5%	3.3%	35.4%	—
前期比増減額	436,734	41,039	33,814	23,311	—
前期比増減率	4.8%	19.6%	16.6%	109.0%	—
(ご参考) 前期実績(2023年2月期)	9,116,823	209,783	203,665	21,381	25.11

2. 差異の理由

当社が2024年1月12日に業績予想の修正を公表した後、1月中旬から2月にかけて比較的気温の高い日が続き、春物の販売が好調で衣料品の荒利率が伸長しました。また、当社が従前より取り組む省エネ・創エネ機器への投資による電力使用量の削減に加え、23年に実施した電力契約見直しによる東北、関東、中国エリアでの電力単価の低減効果もあり、販売管理費が計画を下回った結果、営業利益は業績予想を上振れし、親会社株主に帰属する当期純利益についても、業績予想を上回る結果となりました。

当社は、本日、2024年度の業績予想を公表しました。2024年度も様々なコスト上昇影響が見込まれますが、トップバリュを中心とした商品本位の改革やDXを活用した生産性の向上、収益構造改革を軸にしたコストコントロールに継続的に取り組むことで打ち返しを図るとともに、中期経営計画の「5つの変革」や「重点施策」を確実に実行し、グループ一丸となって新たな業績予想の達成を目指して参ります。

以 上